

★LIFE-UP・他社製品比較試験★

1) プランター栽培試験方法

プランターに市販のバジル苗を定植。

ライフアップと他社製品の液肥を使用して栽培を行う。

散布容量：週1回500倍希釈水溶液を土壌灌水・葉面散布

①液体肥料1（以後、液肥1） LIFE-UP（ライフアグリ製品）

②液体肥料2（以後、液肥2） ※F社製品

製品情報比較

	原材料	抽出方法	主成分	分析値	ph
液肥1	天然植物素材 有明海海水 ※化学薬品使用せず ※天然素材	加水分解装置	アミノ酸 ミネラル 乳酸杆菌 酵母菌	窒素0.11% リン酸0.09% カリウム0.11% カルシウム0.02% マグネシウム0.10%	3.5
液肥2	杉、桧、松 オオバコ ※化学薬品使用せず ※天然素材	不明	ミネラル	ナトリウム41mg/L カルシウム33mg/L 鉄1.8mg/L マグネシウム3.3mg/L ケイ素7.4mg/L 窒素97mg/L	3.5~4

プランター栽培試験

バジル栽培初日



液肥1使用



液肥2使用

バジル栽培15日目



液肥1使用



液肥2使用

※液肥1 全高20cm 節間距離平均値3.1cm
液肥2 全高24cm 節間距離平均値4.8cm

★15日目で全高・節間距離が差が生じる

プランター栽培試験

バジル栽培25日目



液肥1使用



液肥2使用

※液肥1 全高27.5cm 節間距離平均値4.2cm
液肥2 全高43.0cm 節間距離平均値7.1cm
★25日目全高・節間距離に大きく差が生じる

プランター栽培試験

バジル栽培49日目



液肥1使用



液肥2使用

★49日目全高・節間距離に明らかに差が出た。
液肥1の方が肉厚が厚くなっている。香りも液肥1の方が強い。

ライフアップの強み

- ライフアップは天然素材100%
ミネラル豊富な有明海の海水と天然素材（米ぬか、菜種の油粕）を熟成させることにより主成分としてミネラル、アミノ酸、酵母桿菌、酵母菌を配合している。
。そして、これらの主成分が特許出願中の加水分解装置によりナノレベルに存在しているため、植物が吸収しやすい状態で存在している。
- 基本的に栄養剤と言われている肥料の多くには窒素が含まれている。
窒素は空気中にも多く存在しており、雨と一緒に土へと浸透していく。
すると植物は窒素を好んで吸収するため植物内において窒素過多状態に陥る。
窒素は植物の成長を促すのに非常に役に立つが、窒素過多状態になると徒長を促すとともに害虫が好む亜硝酸態窒素を放出する。そのため、他社製品は徒長及び害虫の発生を促す傾向上がる。
ライフアップはこの窒素を上手く消化してアミノ酸へと変化させるため、徒長が抑制されるとともに害虫の発生が抑制されるのである。
- ライフアップ使うと細胞が活性化して栄養に変わる。そして、この栄養は初期生育の場合根に進む。これは植物が自らどこへ栄養を持っていけば良いか判断しているからである。だから匂いを強く出す植物は匂いが強くなり、花が咲く前には花が咲く力が強くなり、収穫前には旨味を増す力が強くなる。